明治四十四年九月五日（火曜日）　第七百六十七號　（一）
月曜及祭日之翌日休刊

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

發行所 京城新報社
仁川支局
東京支局

民團公文

京城居留民團告示第四十號（其一）

明治四十四年度當民團歳入出豫算追加及更正ノ件居留民會ノ決議ヲ經左ノ通リ京畿道長官ノ更正認可ヲ得タリ

明治四十四年八月三十一日

京城居留民團民長 古城菅堂

明治四十四年度京城居留民團歳入出追加豫算

歳入臨時部

第三款 補助金五千圓
第一項 敎育費補助金五千圓
第一目 高等女學校補助金五千圓
朝鮮總督府ヨリ補助

第四款 居留民團債金十三萬九千四百圓
第一項 居留民團債金十三万九千四百圓
第一目、居留民團債金十三萬九千四百圓
四百圓小學校建築及敷地購入ニ充ツル爲メ起債

小計金十五萬二千四百五十圓
合計金四十七萬千三百七十六圓

歳出經常部

第四款 敎育費金五千圓
第六項 高等女學校費金五千圓

歳出臨時部

小計金三十万〇五百三十六圓

第四款 敎育費金十三万九千四百圓
第一項 小學校費金十三萬九千四百圓
第二目 櫻井尋常小學校增築費金二萬三千七百八十八圓
第三目 鍾路尋常高等小學校新築費金五万三千百七十二圓
第四目 元町尋常小學校新築費金四萬七千八百五十圓
第五目 敷地購入費金一萬四千五百九十圓

小計金十七萬〇八百四十圓
合計金四十七萬一千三百七十六圓

明治四十四年度京城居留民團歳入出更正豫算

歳入經常部

第一款 居留民團税
既定豫算額金二十四万四千九百三十一圓
更正豫算額金廿四萬四千九百四十圓

小計
既定豫算額金三十一萬八千九百二十六圓
更正豫算額金三十一萬八千九百三十五圓

歳入臨時部

第二款 寄附金
既定豫算額金三千百五十圓
更正豫算額金千三百五十圓

小計
既定豫算額金十五万二千四百五十圓
更正豫算額金十五萬〇六百五十圓

合計
既定豫算額金四十七萬千三百七十六圓
更正豫算額金四十六萬九千五百八十五圓

●冥府の伊藤公へ（七）

恐々縮々庵主人

●閣下京城花柳界の現状は前條申し述べたる所に依つて略ぼ首肯されたる事と存候されば予は更に筆を新にして他の方面に於ける感想を開陳し以て閣下の一顧を煩はさんとす

●閣下の秘書官として現式部官たる古谷久綱氏は閣下の歿後『藤公餘影』と題する冊子を公にしたり敢て洛陽の紙價を高からしめざるも相當世人の歡迎を受け苟も閣下を慕ふものは必ず一本を座右に備へ且つ畏多くも乙夜の覽を賜はり候而して此の冊子たるや從來汗牛充棟も只ならざりし閣下の傳記及び閲歴を物せし冊子とは其の赴を異にし未だ世人の知らざる閣下の半面を描寫したるものに候蓋し此の業たる二六時中閣下に跟蹤せし古谷氏に非ざれば到底能く爲す能はざるや言ふ迄もなし而して冊子中の事柄は今春帝國劇場に於て演ぜられ滿都の士女をして快殺せしめ候而り雪の場の一齣何んぞ夫れ悲壯なる若し閣下を九原の下より蘇生せしめて此の一齣を目撃せしめん乎閣下必ずや面を掩ふて轉た感慨の禁ずる能はざるもの之れあらんかと存候

●閣下現世は忙はしきものなり若し生存競爭裡に於ける弱者にして現世に希望なく目的なく野心なく同時に現世に慊らざるものは宜しく肉体を屠つて靜安なる冥府に赴くに若かず況んや閣下の如く人生の名譽を恣にし併せて人生歡樂の有り丈を仕盡し而して後冥府の人となるをや縱し晩年の兇變大に惜しむべき點ありとはいへ人生の一代に於て毫も憾む所なし要するに死は多くの場合に於て世人の贊辭を買ふ唯英雄と凡夫とは其の差に於て大小あるのみ唯願くは生前の贊辭をして死後威力あらしむるを要す

●閣下大森谷堊の墓塋は參詣者をして長へに偉大の俤を偲ばしむ男女老幼の參詣するもの日に絶ゆるなく香煙縷々として常に墓碑を罩む亦盛なる哉然るに新聞紙の傳ふるところに依れば近時婦人の參詣者俄かに增加し中には何事か獨り自ら唱へて叩頭三拜するものありとの事ダン〳〵事情を質せば之等の婦人は良緣及び再緣を得ん事を冀ふにありといふされば閣下は何時の間にか『緣結びの神』といふ至つて意氣にして粹な噂を世間に流布さるゝにいたれり否な噂に非ず事實閣下は良緣及び再緣を希ふの婦人より見て眞實の神樣とは化し了せるなり出雲の神の立腹夫れ果して幾干ぞ

●閣下予を以て言はしむれば閣下が緣結びの神となれるは蓋し閣下の柄かと存候之れ閻魔大王が人を見るの明あり依て適材を適所に置きたるに非らざる乎閣下果して首肯するや否や（二日午後二時稿）

文苑

○普信閣

碌々庵

もうしもうし鐘路ヒや
大きな鐘を見やしやんせ
ごん!!と鳴つたら淋しかろ淋しかろ
晝の晝なかに蠅が留つて夢を見る
『眞爪ナルヨー、新サリヨー』
あかあかと照す入日に
岩のやうに沈默した大きな鐘が
ごん!!と鳴つたら其の音に
過去の幻想が躍り出そうに
『チンチン!!南大門行き!!』

高さ一丈餘周圍二丈に餘る大鐘は、鐘路なる普信閣に懸り居り候此の鐘はかつて京城の晨昏に鳴りわたりしものに候てあか〳〵と照る入日に浮き出せしが如き大鐘は我等を思出の國にいざなひ申候。

●歌屑

雲遊霞宿堂主人

○
さりとては窓のポプラの茂りかな
きらまく思へど雨はやまずして

友に代りて
雨夜なり風ふく夜なりからぶれて
母なきこの子夢安からず

○
又しても雨のあらびひ夕かな
雲も動かず風もうよかず

外事一束

△英大使の排獨記事實際は冤罪なりと掲載新聞は記者の德義を重じ筆者に就ては嚴に秘密を守れり大使辭職ての申出は異ならず平和に解決せられん

△伊太利政府は三國同盟よく緊張し重大問題は常に意見交換せらるゝ旨新聞紙上に公表せしむ獨帝多策獨伊耳に佛を圍み脅威す些と子供らしいゾ

朝日

△波斯廢帝黨に敗報有しが近電に曰く進軍繼續し爲に波斯內閣崩壞したり

△東郷大將三十日丹波丸にて米國を去る大統領タフト懇篤なる電報を發し

△航海の平安を祈り沙港外二隻の巡洋艦は少將指揮の下に十九發の禮砲を

△放ち丹波丸を護衛しつゝタウンセント迄見送る大將此行暗默の勳蹟甚多

△英の藏相七月某日市長官舍に述べて曰く平和を偏愛する爲其大國たる面目を傷け利益を犧牲にするを得ずと獨の對佛交涉爲に沮む獨帝大に慷慨

△し濠堡に海軍擴張の演說して暗に腐る於茲乎駐墺大使の排獨記事となり

△英國は今や勞働問題を一掃して鋒を陣頭に立てんとする者の如し…虎列

△近に有ん倫敦今夏酷暑幼兒疫病の爲に死せる者六百卅五…窮民の慘害相嗣

召使お初

第百四十回

黑法師

「仔細聞いたか」奧方は氣急に急かせて「お道召使察と申すが掟を破り築地の塀を乘り越ゑた氣、憎むべき罪過、廢敷役人へ引き渡すとある、なれどその爲め此道までを運襲するは必ず得難ねる、そなた什麼と思ふぞ喃」

「恐れながら其儀暫く御待たせござりませ、私澤野殿へお訊ね申し上げねばならぬ事ござります」と國尾はきつと云ひ切りて、やをら澤野に膝を向けぬ、澤野は澄したる面地なりき「澤野樣へ伺ひまする、お築地を乘り越ゑ、夜深けてお揚ね外へ出るは、恕し難い大罪でござります、此の大罪を犯した者、誰彼の容捨なく、嚴重お處刑あらせらるゝでござりまする喃」

「國尾樣、年老た私をお感弄でござるわの」と澤野は冷笑ふやうに「これがもし國尾樣であらせらるゝとも、決して容捨はござりませぬ、掟通り御處刑あらせらるゝと、嚴重御家法でござりまするわの」

「舍つとござりまする喃」

あるお捌きは致しませぬ」

「さすがは澤野樣、お洞鏡と照りまする、此度お察大罪、法に由つて御仕置あらせらるゝ、こりや勿論の事でござりまするが、その以前お使番お君どの、御法に由つて御仕置なさせらるるでござりませうな」

「ム」と澤野は色をかゑ「何事を仰せござります」

「お察大罪を犯したも、お手引はお君どのでござります、お君どのゝ以前お築地を乘り越ゑ、御他出なされたを我と我から白狀して、お察をゝれの危い道へ御案內あらせた事、私共らは存じでござりまする、ゑの末を正すにはまづ本を正すにある、お察を罪過に落さするは、ゑの手引したお君どのから、きさ御成敗あらせられるでござりませう喃」

「私、ちとも存じませぬ、お君どのの罪過の事、眞實でござりまするか喃」

「私、二枚の舌は持ちませぬ、それともお疑ひあらせらるゝなりや、お君どのを此へ呼び寄せ、きつと詮義致しませうかな」

美しきお君の口をむしらば、その底より如何なる塵芥の出でまじきにもあらず、これ澤野の忍び難き處なり澤野は空を嘯くやうに。

「御前樣お前、罪科詮義は恐れでござりまするで、お君どのは追ての事、さしづめ當るはお察の處刑、まづ夫から申し付け遊ばさうと心得まする」

「そりや叶りませぬ、只今も申すお察は未、根本はお君どのでござりまするで、お君どの罪科定まるまで、お察は彼のまゝ爲させらるゝがお慈悲かと心得ます、それともお察仕置の儀、お取り急ぎでござりますれば、ちと聞き込んだ儀もござりまするで、私手にお君どの詮義、彼も是も白狀させるでござります」と國尾は井々急所を突きて「確とした御返答なさせませ」

澤野がお君を罪人にすまじくするは兎ら國尾がお察の身を暗黒に落すまじく、懸命に守護すると同一なりき、お君もし國尾手に渡りて、嚴しく詮議に逢ふてとあらば、此方惡事の魂膽は殘りなく曝露せん、澤野は是を思ひ彼を考ねて、急に返答の詞もなかりき、勝ち誇りたる勇士の頭上へ大砲の彈丸飛び來り、忽ち急所を撲ちたるが如き樣なりき。

廣告

京城新報

大久保大將を送る 新司令官を迎ふ

國家の兵を養ふ所以のもの、徒らに戰鬪にのみ備へむとするにあらずして、國權を擁護し、平和を維持し、是に由つて國運の伸暢を期するを以て目的とせるものなれば、之れが指揮統率の任に膺る司令官の責や、決して輕からざるなり。特に威を四隣に示すのみにあらずして、我國力發展の地盤をして彌が上にも鞏固ならしめ、駐劄地の民心をして安堵せしめざる可からざる朝鮮駐劄軍司令官の任務たるや、層一層重大なるものあるを想はずむばあらず。大久保大將の朝鮮駐劄軍司令官として來任せられしは、伊藤第一世統監の時代にして。大將は地方の草賊を退治し良民の生命財產を保護し以て伊公をして併合の端緒を開くに自由の手腕を揮はしめたり、繼ねて曾禰第二世統監が地方產業の振興を劃策する所ありしも亦大將の力によつて匪徒鎭定し、國民治產に安んずるに至りしが爲なり。而して終に我帝國二千年來の大懸案が寺內伯によつて解決せらるゝに際しては大將の態度靜かなること林の如く、隆然たる勢威は能く我國權を暗々裡に擁護し、併合の大事を行ふに何等遮碍を見ることなからしめたり。誠に所謂默室の花なるもの是れなり。

大久保大將の武勇は、日淸日露二大戰役に於て既に嚇々として內外に顯揚せられ、兒童と雖も尙大將の武勳を語れり。而かも大將が併合に際し、不動の姿勢に在つて國民を安寧せしめしものは眞に智仁勇兼備の大將にあらずむば能はざる所なり。半島の上下大將の德を慕ふて止まざるも寔に故ある哉。想ふに、大久保大將が永く半島の重鎭として上下に敬仰せられしものは、大將が武德を磨かし、且つ敬神愛國の念篤く軍隊養兵の本旨を體し以て聖上の御平素身を持する謹厚なるに由る。而して上の爲す所下之れに倣ふの理に洩れず、大將部下の將卒其風紀の端嚴なるは勿論、一度び大將に接する者齊しく大將の言行悉く修身齊家の教訓ならざるは莫きに感ず。嗚呼大久保大將は我武士道の權化なり。然るに憾むべし武士道の權化大久保大將は、今や停年に達して故國に歸られむとす。吾人眞に鬱々袂を別つに忍びざるものあり。然れども、大將に代つて大將の如く威あつて猛からざる上田新司令官を迎ふるは、これ大將が半島に殘されし美德の新司令官によつて益々發揮せらるゝものあるを思はゞ、吾人深く、大將に別れざるを得ず、時方に殘暑の候、願ふ國家の爲加餐自重せられ將來國民の大教訓者として盡されむ事を切望す。

東京電報

▲新大臣昇叙 新任大臣及拓殖總裁に左の通位階昇叙の御沙汰ありたり

叙從三位 陸軍大臣陸軍中將正四位勲一等功二級男爵 石本新六

叙從三位 文部大臣從四位勲四等 長谷場純孝

大藏大臣從四位勲四等 山本達雄

叙正四位 拓殖局總裁勲四等 元田肇

▲拓殖事務引繼 二日元田拓殖局總裁は總裁室に於て江木前總裁より二部以下高等官六等以上一同を召集し新任の挨拶を爲し一同より祝賀を受け江木前總裁より事務の引繼を受け正午退出したり

▲荒井氏と大藏次官 荒井度支部長官は大藏次官に任命さるべしとの說あり

▲臺灣の大風害 臺灣に於ける暴風の被害は臺北特に烈しく破壞家屋五千餘、死傷者六十名負傷者非常に多くして續く目下各所休鐵出にて救護中なり

▲米作豫想高 本年の米作は土用前に於て溫度著しく高かりし爲め發育良好なりしに土用に入り數日氣溫の消冷に懸念する害ありしも概して氣候適順にして特に七月下旬及八月中に於ける風雨の害を蒙りたる地方ありしに拘らず全國を通じて作柄良好なり茲に八月二十七日即ち二百十日一週間前の現狀を調査したるに收穫豫想は五千二百九十四萬七千九百九十八石にして之を前年に比すれば七分九厘の增收を示せり

▲新聞列車增結 鐵道院にては昨今乘客多數に付午後三時四十分新橋發下り及午前九時三十分下關發上り兩急行列車に二三等ボーギー車各一輛宛增結運轉せしむる由

▲伊皇帝の御答電 遣英艦隊司令官島村海軍中將は鞍馬利根の二艦を率ひて歸朝の途次過般伊太利に寄港し同國各地にて同國皇帝を始め官民一同の熱誠なる歡迎を受けたる旨齋藤海相に報告ありたるが齋藤海相より委曲奏上及びたるに天皇陛下には深く御滿足に思召され、同國皇帝陛下に御鄭厚なる御禮狀を發せられたるに對し同國皇帝陛下より御答電到着したりと拜承す

▲郵船の船舶建造 日本郵船會社にては航路の改良發展を計る爲め米國航路用船舶五千噸のものを長崎三菱造船所及川崎造船所に於て建造し歐洲航路用一萬噸以上のもの二隻、上海航路用三、四千噸のもの二隻を建造する計劃を立て本月中に注文を發すべしと

▲戰艦の命名 呉海軍工廠に於て建造中なる戰艦は扶桑と命名さるべし

▲大觀邸伺候 新任軍司令官上田中將着任に付軍司令部幕僚及部長等は四日午前十一時大觀亭に伺候せり

▲司令官の挨拶 上田軍司令官には五日午前十一時山縣政務總監、李王殿下、李太王殿下を順次訪問し着任の挨拶ある由

▲二百十日の天候 二百十日は全國を通じて無事なり三日は琉球地方曇天にして南東の風強かりし

▲海獸會議委員 米國華盛頓に於て開會の日英米露四國海獸條約會議に參列の遣家水產局長北原技師は今四日敦賀に歸着の豫定なり

▲勸業債券と郵便局 來る十一日より三十日迄日本勸業銀行に於て發賣する第三十七回勸業債券は同期內郵便局所に於て之が公買媒介を取扱ふ

雜報

●大公園計畫 舊韓國皇帝の即位式場たりし長谷川町圜丘壇は目下總督府所轄となり居れるが圜丘壇の後方南大門通三丁目なる石鼓壇も從來漢城府民會にて使用し居りしも同府民會は既報の如く近日解散するを以て此際圜丘壇と石鼓壇の間壁を取拂ひ門より門に通行を得せしめ以て兩壇を日鮮人共同の一大公園と爲す計畫にて既に京城府廳と京城民團との間に交渉中なるが不日總督府へ稟請せん手筈なりと云ふ

●取引所進捗問題 京城有價證券組合長釘本藤次郎氏等の計畫せる京城取引所設立問題は其後協議進捗しつゝある由なるが舊先年同一計畫を立て其筋に設立認可を申請し此前の發起人をも加へ其他成べく多方面を網羅する筈にて近く右發起人會を開き目論見書其他の計畫案に就き審議すべしと

●軍司令官着任

▲司令官入京 新任軍司令官上田中將は四日午前八時四十分南大門驛着列車にて途中迄出迎へたる柴參謀長、松村憲兵司令官副官等と共に入京直に腕車にて一中隊の儀仗兵前後を警衛し順路大觀亭に入られたり停車場には山縣總監、大久保大將、松永中將、石塚、荒井、池田、宇佐美、柏原の各長官、國分檢事長、明石司令官、宇佐川、井上、林の東拓重役、水越鮮銀理事、山形、藥師川兩中佐、古城民長、高橋務官、岡支配人、中村再造氏其他軍師團の將校新聞通信記者等五百餘名の出迎へ盛んなりき龍山砲兵隊にては司令官通過の際十九發の禮砲を發し南大門驛前には步兵二中隊騎兵一中隊朝鮮隊一中隊整列し又在鄉軍人會にては海部中佐、大島少尉は會旗を携へて出迎へたり

●司令官披露宴 上田軍司令官は來る七日午後六時より山縣政務總監、各部局長官、明石司令官、朝鮮貴族重なる文武官民、新聞通信記者等千餘名を龍山軍司令官々邸(第二師團司令部東側新官邸)に招待し盛大なる新任披露宴を張らるゝ筈にて夫れ〳〵案內狀を發したり

●總督府午餐會 山縣總監は四日午後〇時三十分より總督官邸に於て目下入京中なる萬國寢臺會社營業課長なるエベル氏を正賓とし大屋長官代理小城技師三本參事官、横井、岡村の兩技師、荒井長官、鈴木局長、明石總長、池田長官、池邊書記官、藤波通譯官等を招き午餐會を開かれたり

●總監司令官を招宴 山縣政務總監は來る七日倭城臺の總督官邸に上田軍司令官を主賓として在京の文武高官を招待して午餐會を催す由なり

●增設普通學校 京畿道管內に於ける普通學校は本年度內に於て二十八校を增設せしが右教員を內地より招聘するため人選其他に時日を要したりしも愈々今回全部の設備及教員の傭聘を終りたるを以て九月一日より增設二十八校悉く授業を開始したりと云ふ

●慶南の東拓移民 慶尚南道固城郡東邑面及び西邑面に移住せる東拓會社の移民戶口は三十二戶百十八人にして渡鮮後家の都合其他疾病なりとて歸鄕したるもの二戶あり其他の者は何れも熱心に從業して毫も不平を唱へず他の地方に於ける同會社の移民とは全然趣きを異にせる由なり因みに同地の移民は多く在鄉軍人なりと云ふ

●佛領事交迭 京城駐在佛國領事モーレスパイヤー氏は今回香港駐在を命ぜられ後任には芝罘駐在領事グラン氏任命せられ來る十日頃着任事務を引繼ぎパイヤー氏は宮島を遊覽して十八日神戶を出帆すべしと云ふ

●佛領事送別宴 別項記載の如く當地駐在の佛國領事モーレス、パイヤー氏は今回當地を去ることゝなりたるに付山縣政務總監は五日午後七時總督官邸に同氏を主賓とし各部長官等を招待して送別宴を張ると云ふ

●朝鮮棉花株式會社 宋秉畯、友常穀三郎、園田安賢氏外十五名の發起に成る朝鮮棉花株式會社にては去月二十五日より九月十日迄の間に拂込金一株に付金二圓五十錢づゝを徵收し居れるが同社資本總額五十萬圓此株數一萬株の內六千株は發起人に於て引受け殘四千株の內二千株は贊成人に於て引受け二千株は更に發起人に割當つることに決定し居れりと

●食鹽の仁川港輸移入 明治三十八年より四十三年に至る仁川港食鹽輸移入數量及價格左の如し

年別	國別	數量(斤)	價格(圓)
三十八年	日本	三、八八〇	三六〇
	支那	六、二三八、二〇〇	一九、三六二
三十九年	日本	一、〇〇〇	一九
	支那	五、四四三、八六〇	一六、三三一
四十年	日本	三七〇	三
	支那	一三、四二五、九四〇	四八、二六五
四十一年	支那	一七、六七七、〇〇〇	六〇、一三三
四十二年	支那	一四、九六一、一六一	六五、七〇四
四十三年	支那	一五、六七六、一九五	一三、八四三

尙支那鹽再製品を鐵道沿線其他の各地方へ供給高以前の分は不明なるも四十三年度は四千五百噸餘にして今年度よりは更に增進の見込なり

●淺野三井物產支店長談 日本內地の經濟界は一寸見たところでは平靜のやうであるが其の實却々苦しい何にしろ貧乏人が衣類を一枚二枚と剝いで行くやうに何うかな遣らうかな裏面丈は彌縫して居るが近き將來に於て餘程困難に陷りはしまいか何にしろ政府が從來借金政略でやつて來たのであるからトドの詰り苦しくなるのは勿論の事であるダカラ政府は之を償ふ爲めに稅を高くするソレでも追ツ付かぬから色々と計畫をする從つて下層社會のものが生活難を唱ふるやうになる現在自分は還回銀座通りから日本橋に到る迄の間に七八軒の空家を見たが目拔の場所としては實に珍らしい事であるが多分是は營業稅が高いからであらう之等は要するに爲政者の一考を煩はさねばならぬ事だ自分は還回の米の暴騰を見て最初這ういふ考へを持つて居た假令米の値段が一升に就て十錢や十五錢高くなつた所で其の他のものに於て儉約さへすれば差したる影響はなからうソレが證據には外國米が異動しないではないかと併し此の暴騰は忽ちにして外れた外國米は直ちに動き出して東京大阪神戶丈で八十萬袋の異動を見た勿論米の暴騰は取引停止の命令に依つて少しは下落したが又ポツ〳〵と昂騰して居るやうである要するに是は正米の缺乏が大原因をなして居るナ新藏相觀は何うかと從來の山本氏の閱歷と手腕とに徵すれば適任かも知れぬが併し金融と財政とは關係はあるものゝ自ら別だから今後の手腕に徵して見ねば判らぬ尤も東京あたりでは非常に評判が宜いソレが爲めに一般の株の値が上つたではないか云々

●練習艦隊入港 少尉候補生を乘せたる第一艦隊練習艦阿蘇宗谷の二艦は五日午後一時仁川に入港すべし

●稅撤廢及滊車賃低減(續) 山口京城商議書記長談

今假りに朝鮮米が一石十圓とすれば之れに對して五十錢の輸移出稅がかゝるダカラ商人は之れを償ふため五十錢丈安く買はねばならぬ而して這は單に輸移出米のみが五十錢安くなるばかりでなく全道の總產額約八百萬石の米相場が一石に就て五十錢づゝ安くなる譯であるさすれば政府が每年僅かに六十萬圓の輸移出稅を取る爲めに朝鮮全國の米穀は每年四百萬圓づゝの損害を蒙りつゝあるのである或る論者は輸移出稅撤廢に就ては最早議論の餘地はない唯此の六十萬圓の財源を差當り他に求むる道がないから撤廢は出來ぬとか又目下朝鮮の米穀は籾で滿洲に輸出し白米で滿洲に移出するを以て無理から內地に移出する必要はないではないか滿洲に輸出する方が金貨の流入を來すから內地に移出するよりも利益であるといふ說ではないかなどと云ふて居るが如斯說は敢て取るに足らぬ勿論十ケ年据置といふ事はあるが米穀輸移出稅に就ては撤廢したからとて別に差支はなからうと思ふ要するに撤廢の時期が遲るゝに從つて實行が益々困難になりはせぬか何故ならばといふと僅かに六十萬圓の財源が無い爲めに困難を感ずるとすれば今後產業の發達に伴つて年一年輸移出高が增加し從つて輸移出稅が百萬圓乃至二百萬圓と積重て行くにつれて益々實行が困難になりはしまいかされば當局に於ても今の中に英斷を施す方が得策だらうと思ふ如斯次第であるから本年の聯合會には政府始め各關係者に又々意見を提出し是非共撤廢を期するやう努めねばならぬ

次に朝鮮鐵道の賃金は餘りに高率に失する事は官民共既に業に認めて居るダカラ近距離は勿論京城平壤間を往復する朝鮮人にして滊車の便を借らずに徒步旅行をするものがイクラもある又單に朝鮮人のみならず內地人と雖も其の賃金の高きには困難を感じて居るされば本問題は本年聯合會に於て研究したる如く二三等の賃金をウンと引下げるか又は更に四等車を聯結するが二者何れかの方法を取るを可とす要するに賃金引下は一日も早く實行して欲しいものである云々(完)

●仁川の練習艦歡迎 仁川民團にては五日入港の阿蘇、宗谷の練習艦隊に對し湯札及繪葉書等を贈り尙將校數名を入阪樓に招待すべしと云ふ

●司令官歡迎會協議 上田軍司令官着任に就き當地の官民有志は不日盛なる歡迎會を催すべく協議中也

●朝鮮九月號 「漢江の奇蹟」「水原の風景」「靈島の果樹園」等の口繪は見るから涼味を覺えしむ旭邦子の「併合一週年の朝鮮」「大久保大將を送る」は例に依り筆路縱橫情理整然錦繡の好文字たるを失はず論說欄に於ける各名家の意見何れも傾聽すべく其の他研究、訪問錄、名流談叢、雜纂文藝、時事、風聞駄話等の各欄夫れ〳〵賑かに殊に風聞駄話の如きは旭邦一流の文字現はれ時に讀者をして哲笑を禁せざらしむるものあり(一部二十錢發行所京城旭町一丁目其社)

●釜山の赤痢猖獗 釜山に於ける赤痢は目下猖獗を極め同地傳染病院の現在數六十一名にして目下一日平均四名の患者を出しつゝありと云ふ

●鮮人判任試驗 鮮人判任文官の採用試驗は九月一日より各道廳に於て夫々試驗中なりしが右試驗の答案は全部總督府に一旦集中し其上にて採點をなし可否を決定する筈なれば多分今月々末ならでは結果判明せざるべく尙試驗合格者を全部判任文官に採用するに非ずして優等者より各道必要の人員だけ直ちに任命する次第なりと云ふ

●秋山參事官東上 兼任總督府參事官秋山雅之介氏は三日午後十時南大門發東上したり

●服部理學士講演 水質調查の爲め渡鮮滯在中なる學習院教授服部理學士は京城、仁川、平壤等の水質の調查を終へたるに付四日午後二時より總督府司法部に於て各部、各局の高等官を集め講演をなせり

●服部理學士の歸東 服部理學士は五日午前九時南大門發歸東の筈

●閔長官の歸着 王世子殿下に隨伴して東上したる閔李王職長官は事務官金東完氏を隨へ二日午後三時四十分新橋驛發四日午後八時十分南大門驛着歸任す

●小宮次官微恙 小宮次官は微恙の爲め一兩日前より自宅に引籠り靜養中也

●蛤川事務官歸任 賜暇歸東中なりし李王職事務官蛤川新氏は去る四日歸任したり

●民團學校新築請負 京城民團に於ける櫻井小學校增築及龍山新築校舍の請負は三日隨意契約を結び直ちに工事に着手し來る十一月には落成の筈なるが鐘路の新築敷地は目下建物ありて明五日入札に附し而して取拂ふ事になり居れば自然請負契約を遲延すべく落成期も十一月中には六ケ敷多分明年四月ならんと

來人私人

▲平熊友明(熊本大林區署林務官) 三日山本旅館へ

▲神谷卓男(平北道內務部長) 同巴城館

▲小川廣二(醫師) 同淸月旅館へ

▲蛤川新(事務官) 二日歸任

▲大津誠吉(技師) 三日水原行

▲岩島海軍少將夫人 三日入京

▲久次米邦藏(技師) 三日歸任

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
九月四日	一二六、五九八、一五〇	五三二

▲治外法權▼

新內閣大臣等の縣別を見ると、西園寺が京都、原が岩手、內田が熊本、山本が大分、石本が兵庫、齋藤が岩手、牧野が鹿兒島、林が東京、松田が佐賀、長谷場が鹿兒島▲寺內總督は渡邊宮相より元勳待遇の御沙汰を受けたとの噂がある、此噂果して眞か否かは知らねど若し眞なれば、大隈に非ならずに年寄になつた樣なものだ▲朝鮮貴族男爵某本願寺を說いて曰く、我寺由來寶士多し、男爵某の如き或は寄に運動費百五十萬圓を贈れ、而らば鮮人信徒五百萬人を作り與へんと、本願寺の手先にてはなきか▲之に似寄りたる話は日露戰役中、在米一猶太人が高平公使へ五千萬弗の軍資を義捐したしと申出でた、公使喜んで其事を謝し、本國の意向きへも打電した程であつた、スルト猶太人の曰く五千萬弗の金を集むるには百萬弗の運動費を要すと、高平之れを聞いて腰を拔かし、五千萬弗義捐はオヂヤンとなる▲愈來る六日を以て當地出發歸鄕の途に就かるゝ大久保前軍司令官は彼の有名な儒者鷹田牛山の甥で、大將の生れたとき、牛山は孩兒の爲に鐘馗の畵を書き此兒將來必ず鐘馗となつて國家を守護すべしと祝した▲果せるかな、六十年前の孩兒は途に大將となり軍司令官となり乃ち鐘馗となりて國家守護の任を全ふした▲園山太機和尙將さに歸鄕せんとする大久保大將に向ひ餞別として自作達磨の畵像一枚を贈る、而して此達磨は普通の達磨と違ひ手足を有す▲聞く從來軍人にして停年に達せる者皆之れ無爲の隱居、和尙の大將に贈るに手足を有する達磨を以てせるは今後の活動を望めるにてはなきか

（第三種郵便物認可）　明治四十四年九月五日　京城新報　（火曜日）　第七百六十七號　（三）

多情多恨

京城藝妓の半生

元京城券番菊家の小鈴事

清華亭　鶴羽（四）

話は少々跡へ戻つて彼れが渡鮮を決心し下ノ關より連絡船の二等室に搭乘した折り知り合になつたのが一時は全盛であつた御用商人立石某で船中に於て早くも情約成立し釜山に上陸し某旅館一泊の夢を出した小鈴の精力は渡鮮勞頭立石君に依つて試驗せられた、此の辣腕を半島花柳界の中原に揮ふべく長風に駕して**光昇樓**に乘り込んで、**れ鯉**と名乘つた、初客は**玄海灘以來の馴染立石**君を筆頭に本町五丁目の**釘本**藤次郎君が二階に續いた三階に續いたのが明治町の用達商**岩田**滿次郎君三人入亂れての競爭に立石君先づ矢竭き刀折れ馬斃れて名譽無いセンシを遂げた跡は岩田釘本兩氏の白兵戰の間へ割込んだのが元內部の府郡課長**平渡信**君だ、夫れと見て取つた釘本君御得意先の命筋との競爭は營業の上に打擊を招ぐ基なりと諦めを附けて心を跡に振り反り見返り反り見つゝ立ち去つた、と此れと始んど毛拔合せに競爭渦中に入つて來のが**廣江商會の主人**廣江澤次郎君だつた此の戰孰れの勝となるべきか花々しき爭を見るべしと期待したのに違つて平渡君はアノ始末で歸東して終ひ廣江君又他に見立替をしたので中原の猶自然に岩田君の手に歸したが彼れは四十三年の十一月都合あつて彼の**菊家に仕替小鈴と名乘**つて出た夫れ以來岩田君とは切れた代りに南山町一丁目井下某に關係がつき大村某とは月極二十五圓で情約成立した然るに偶々彼の**桃雲閣事件が起**つたので**客筋は滅茶**〳〵に成つたのみか百七八十圓の借金を背負つて終つた斗りか菊家からは出されると云ふ情けない事に立至つた、桃雲閣事件の起因と云ふと彼れが**岩本君の口前に欺され**乘り氣に成つた結果である何んでも岩本君と初めの契約は今引受けて居る事件が片付いたら抱への二三人も置いて前を一本立にして濟つて每月百圓宛手當を遣つて衣類は四季一襲ね宛三越吳服店へ氣に入つたのを誂ねても宜しい位の頗る甘い〳〵條件であつたのだ小鈴だつて慾がある左樣なつたら嬉しい夫れに付けても岩本さんは粗末にならんとウヂャヂャケた結果が**料理代九十何圓なり**の**勘定まで背負込んで**淸華亭へ今の身の上恩へば可哀相である相だ、と書きつ放すと小鈴サモ惡い事だらけの女の樣だが左樣でない本年の一月曾つて水茶屋に居た當時知り合であつた寺田と云ふ夫婦者が夫婦共重病に罹つた時なぞ夫れ〳〵入院せしめ治療の上旅費まで持して歸國せしめた事もある位だと頗る肩を怒らかして淚含んでブル〳〵顫ねて食つて蒐る人のある所を見ると云はれぬ善い所があると見ねる（完）

附記　本人より「私は決して父の放蕩の爲めに稼業致し居るにてはなく父が事業の失敗により」と申越したれば右の通り訂正

●忌々しき離婚沙汰

▽不謹愼なる產婆さん　當地產婆界の元老として斯界に重きを爲す伊藤院かね子は此れ迄屢々面白からざる噂ありしが遂に噂は事實となり二十歲の娘を頭に昨年生れた男の兒を合せて六人の子を生したる仲の良人何某に迫りて自ら離籍し本姓石塚に返り昨年十月頃より同棲したる自分よりは七歲も下の京城郵便局物品購入掛りの岩本秀なる人と依然同棲し他所目には夫婦とも見るべく振舞へる若々しさは醜關係があるにしても無きにしても世間の手前もあれば斯る場合當然遠慮せねばならぬを四十女の若作り長女には今にも孫も出來るべく次女の婚期も迫り居る程の家庭を我れから棄てゝ色慾界の餓鬼となり他年伴れ添ひし良人に乳吞兒を投げかけて已れ一人身輕になり快樂に耽ることと言はう樣もなき不心得と云ふべし產婆と云へば他人の家庭に出入する者なるに斯る不始末ありし事とて助產婦養成所よりは關係を絕たれたり醜同人は四十一年十月の頃に梅原某と共謀し木下某の仕立講に加入し同業掘起某の權利を落札詐取したる事あり植村醫士三浦中尉杯とも怪しからぬ噂あり程なりとぞ返す〳〵も苦々しき事かな

●銀行員の拐帶

原籍福岡縣遠賀郡芦屋村葉山虎男（四十）は小倉市某銀行の外交員として廣く勸業債券及軍人恩給抵當貸金等の業務を擔當し常に九州地方に活動し居たりしが去月三十一日同行より金一千圓を拐帶逃走し仁川に來り稻田旅館に井上善吉と詐稱して投宿し翌日金五百圓を小田るいの名義にて郵便局に貯金し仲町糸綾商店にて十三圓餘の金緣の**色眼鏡**を**買ひ人相を魔胡化し居**たるが擧動の怪しきより仁川署の坂下今井の兩刑事は目を付け居たる中福岡警察署より同人の取押方通牒に接したれば三日夕刻仁川驛前を徘徊し居たる處を直ちに取押へたり因に虎男は小倉市にて或**藝妓の色香に迷ひ六百圓にて落籍**し自分は一足先に仁川に來り本夕は彼女の來る筈なれば出迎ひの爲め停車場に待受け居りしなりと

●店員窃盜と早變

▽斯くて一生を誤る　三日午前九時頃仁川仲町〇万の前に擧動怪しき年若き男の徘徊せるを仁川署の坂下今井の兩刑事が認め直ちに取調べたる處短刀を懷中し尙第一朝日樓の娼妓染吉の寫眞を所持し居るより更に不審を抱き嚴重取調べたる處彼れは原籍山口縣大島郡沖家室村**石崎廣一**（十九）とて去三月より**京城本町**二丁目の**湊屋雜貨店**に**奉公中**の新地井筒樓の某娼妓に現を拔かし足繁く通ひつめ遊蕩費に窮し本月一日夜家人の就寢を窺ひ金**庫より金三十圓を窃取**し直ちに井筒に登樓翌日仁川に下り前記朝日樓に登樓し染吉を敵娼に一夜の快樂を貪りたるも懷中空しくなりたれば殘金一圓にて短刀を買ひ求め何方へか忍び入り行懸けの駄賃に一働きせんと覺悟し居たるに惡運盡きて天網免るゝ能はざりしなりと自白したりと云ふ四日檢事局へ送られたり

●外人の差押沙汰

▽治外法權撤去後初めて　西大門通り東西煙草會社專務取締役ギリシャ人イーエキースコンスタン氏は去月二十八日仁川海岸通り三丁目東洋煙草商會支配人エーとエーリッ氏より金五百圓の爲め差押處分受けしより同月三十日大久保辯護士に依賴して金二千圓の債權の爲め反對に差押處分したりと因に治外法權撤去以來民事事件の差押は初めてなりと

●鮮人を毆打（二件）

當地御成町百五十番戶島根縣人吉田廣藏（三七）は鮮人朴俊卿（六十）及息子東浩（二十）を些少の事より毆打負傷せしめ治療代一圓五十錢支拂說諭放免▲當地長谷川町二丁目廣江商會內松田松太郞（二九）は金善連なるもの果物賣りに來り代金の事より口論を初め毆打負傷せしめ治療代一圓にて說諭放免

●安明根等控訴棄却

安明根外十七名の强盜及强盜未遂事件聚起錄一派の保安法違反の控訴者金道熙外七名の第二審判決は控訴棄却の言渡ありたるが强盜事件の被告人安明根外四五名は强盜はして居らぬと種々暴言を吐き狂ひ出したるが廷丁及看守に擁せられて退廷したり

●墓地荒し巴城館中

部長橋二十五統四戶沈泰燮方沈根燮（三〇）は去る六月中旬京畿道揚平郡海東村面牛耳洞安某氏先祖の墓地にて玉燈石燈石香爐を窃取し京城南山町巴城館にて金五十圓にて賣却したる事西部署刑事に探知され目下取調中

●赤痢患者

當地蓬萊町四丁目十八番戶田山六八妻こん（三六）は四日赤痢に罹る

●チブス患者の死亡　本籍大阪府三島郡高槻町上田郡當時龍山鐵道官舍第六號の四電機工永田重三妻はな（三五）は豫て腸窒扶斯に罹り鐵道局龍山避病舍に入院治療中の處三日午後六時死亡せり

●浴衣一枚を盜む　南部小龍洞九十七統七戶居住新潟縣人久保田滿治（四〇）は八月二十六日午後五時頃齊坂町淸水ミツ方にて浴衣一枚を窃取し西部署に捕れ檢事局に送らる

●相川麵麭店の擴張　當地太平町一丁目の同店にては這回最近歸朝の熟練なる職工を聘し一層原料を精撰し優等品のみを大勉强直段にて賣出す由

●仙友雅會の例會　天草神來、消水東雲の兩畵伯淺沒古氏等が主唱發起に係る仙友雅會は其第二回例會を三日午前十時より旭町一丁目の料亭白水に於て開催したり會員諸子の席畵等あり午後一時晝餐を共にし南山の翠嵐に浴しつゝ碁に將棋に談論に會者思ひ〳〵に消興を恣にし會主側の出品に係る大幅物絹紙本十數幅を抽籤にて會員に頒贈したり散會せしは薄暮の頃なりし近來消雅風趣の會合なりき次會は十月第一日曜日會費同く一圓にして身分職業を問はず何人にても入會する事を得因に當日日韓印刷株式會社支配人明石桐一氏より唐紙全判數十葉の寄贈ありたり

●消遊俱樂部　龍山印刷局員の組織せる消遊俱樂部は其第一回を三日元町二丁目の同俱樂部に開會し大弓並に會員の隱し藝其他の餘興數番ありて中々の盛會なりしと

●秋蒔草花種子の無代配布　既記の如く岡山縣邑久郡長船農事試驗場草花部より發送代郵券十錢にて送與する西洋新草花は左記の廿種なる由通知ありたり◎新舶來三色スミレ最大輪種各種◎同撫子の新種各種◎同翠菊の最上種各種◎同ペチユニヤ最大輪種◎同最新種絞咲矢車草◎同羽毛狀萬重咲ポツピー◎同アネモネ◎同矮生最大輪紋咲ポツピー◎同麝香連理草◎同八重アクイラジヤ◎同スカビオサマキシマ◎同子モフキラ◎同冬咲朝顏等なり

●演藝だより

▲壽座　片岡鶴之助一行は初日以來大好評なるが好劇家諸子の望に依り尙井政談野狐三次を五日より四日間續きにて演ずる由因に鶴之助は浪花節芝居草創時代よりの第一人者にして技藝の輕妙なる多く見ざる所なりと

▲歌舞伎座　大活動寫眞及キネオラマ電氣踊等の第二回目なりと

▲浪花館　桃中軒雲柳四日夜限り

▲龍山座　浪花館を四日夜を以て打揚げたる桃中軒雲柳一行は例の如く提灯行列を以て龍山座に乘込み六日初日を出す都合なりと云ふ當日の讀物は義士傳中山安兵衛生立より聟入迄

▲仁川歌舞伎座　松旭齋天勝一行

▲大久保大將と雲柳　軍司令部及び師團側の發起になる大久保大將の送別會が去二日巴城館に於て開催されたるに就て當時浪花館にて開演中の桃中軒雲柳は招かれて義士銘々傳の內不破數右衛門を長講したるが主賓大久保大將を始め山縣政務總監、松永師團長明石總長、軍司令部幕僚、師團幕僚等が拍手喝采の裡に芽出度演了したり而して彼の如き將師大官連が

▲公式に浪花節を聽かれたるは這回を以て嚆矢とすることとなれば雲柳の名譽は一層光輝ある次第なりと

▲天勝と西洋料理　目下仁川歌舞伎座に興行中の松旭齋天勝は近頃京城に青木堂の西洋料理が氣に入つて終ひ仁川から太太元の佐藤慶之助と手を携て**每日青木堂迄晝飯を食ひに來て**四時の汽車にて歸るを常とするなりと天勝曰く「私は本年二十八ですから二十九三十と跡二年稼ぎましたら堅氣に成りますの好いのがありましたら世話を」とお休驚人程有れば好いのかしらん

平民文庫

▲市內各湯屋の着物脫ぎ場兼休憩場たる室の壁や天井に各種の廣告を貼つたり吊したりしてある▲三越の意匠畵、歌舞伎座のキネオラマ等は極めて美感を惹き起す▲美しいなと次へ目を移すと其處には何とか云ふ梅毒の藥の廣告の梅毒性發瘡の擴大圖が掲げてある一寸見てゾッとした▲アンナ廣告を一枚掲げて何程位收入が增すのか知らぬが彼の樣な惡感を惹き起すものは掲げぬのが湯屋として客への禮儀だと思ふ（風聞子）▲新町大和新地の妓樓、松の家、巴樓等は一時間何程の約束で客を登樓さして後は三十分位で時間だ〳〵と騷ぎ立てゝ割增を取るのだ（探訪生）▲警部の本願寺はナゼ引上げましたか今度は判任官舍の奧さん連の方から龍山迄御出張かね（ボーイ）▲壽座では表木戶は小供は默つて通して置いて札を集める際五歲六歲の子供でも遠慮なく料金を徵集する夫れに不服はないが取るものなら木戶口で取るのが至當だ其の用意の無い場合は滿座の中で恥を搔かねばならぬ改良せよ（好劇生）▲御尤もなり（小僧）▲東京の電車內の喫煙禁止は法律の力を籍らずに勵行されて居て頗る氣持が好ひ京城の電車も此の慣習を養成したい（一布衣）▲五六日前中上ても取り換へに來ないのよイ都合で御座るぞ君の下駄は玉場に預けてあるから早く換へに行き給へ僕は足を取られて迷惑する（武田生）▲此の京城府民の轉宅程行先の不判明なのは恐らく世界中に二ツとはあるまい此出中廣告して生徒募集せし私立高等裁縫女學校も其一つで娘が入學せんとて態々行つたら貸家と紙が張られて何處へ行つたか薩張りわからん御知りの方は知らせて頂戴至急に（某官舍）

世界一の大鰐　旭町一丁目民團役所裏　大人金五錢　小人金三錢

▲月經をつうじ●●●
子宮病を全治す

月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす●

二十錢之御新案　暑夏祈念　月經不順

（喜月丸）

一日入錢半週分廿五錢一週五十錢
二週分壹圓、三週分壹圓四十錢

常に月經異動ある人持藥とせば瘀血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也

本舖　大阪心齋橋一丁目　丹平商會本店
支店　東京日本橋通四町　丹平商會支店
▲賣藥は京城南內其他各店に取次す

飲みすぎ食ひすぎに

ビットル散

本舖　大阪市江戶堀　猪飼史郎　各藥店ニアリ

代理店　京城南大門通三丁目　新井藥房
電話九百四番千六十八番　振替口座京城十六番

健胃下腹丸（けんゐかふくがん）

代理店　京城南大門通三丁目　新井藥房
電話九〇四番一〇六八番　振替口座京城十六番

肉エキス葡萄酒（一名ウキンカーニス）

淳良なる甘味葡萄酒と著名なるリービヒ氏肉エキス、麥芽エキスとより釀造せる强壯補血劑なり

（三）
京城本町三丁目　龜屋商店
電話二十七番　振貯二十七番

脚氣胃腸病の福音

我家相傳の名灸たるや一度施灸をなさんか高病必ず治す▲當院廣告持參者は向ふ二週間一名一病に限り無料

龍山元町四丁目電車通り
日野灸療院

移轉廣告

今般都合により左記の所に移轉仕り候

義齒全般
京城旭町二丁目（本通り日の出湯前）
齋藤英壽
電話一四一四番

永久保險附

THE GLORIA CYCLE Co. Ltd. COVENTRY

直輸入新荷着
英國皇室御料
グロリヤ號

自轉車銃砲火藥直輸入商
瀧川銃砲店自轉車部
京城明治町二丁目（電話三〇二番）

一日にして効能は現る

複方タルリン
りんびやう・らい病藥

緒方、高橋兩病院長有効證明

價（三日分　廿錢）（七日分　四十錢）（十四日分　七十五錢）

本舖　日本大阪　高橋盛大堂
代理店　京城本町五丁目　木下大盛堂
同南大門三丁目　新井藥房
到る所の藥店に販賣す

効能ある温泉

浴用効能　りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せんき、ひりんびよう、しようかち、しきゆう、ぢのいたみ、つきやくふぢゆん、ひせんがんがさ其他皮膚病一切

外用効能　きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、ちきづ、ひぜん、はのいたみ、おせぼ、まんせいできもの、いんきん、たむし、うちみ

內用効能　ひんけつ、しんぞう、おびより、ちようかたる、らいつう、りようまちす、いびよう、はいびよう、たちだん、かつけ、しんけいたみ、病後衰弱、りんびよう、せきすい、どんちう、ちゆうふう、げり、はらいしようかち、しきう、酒のよい

旅館　浴客　貸席
鐵冷温泉
京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手（電話一四一一番）

商標

まんえん熱まおり（マラリヤ）熱風邪つの良劑

キナエン丸

一包入五錢
五包入廿錢
十一包入卅錢
十六包入五十錢
廿八包入

本舖　大阪四ッ橋西南詰南　本林丁子堂

（△キナエン丸は全國到る處の藥店に取次有御求の節は丁子の商標に御注意を乞ふ▽）

代理店　京城南大門通三丁目電話九〇四番一〇六番振替口座京城十六番　新井藥房

眼科專門

前大韓醫院眼科部長
金井豐七

京城本町六丁目（元軍司令部通り）
金井眼科醫院
電話一五五六番

朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

支店出張所（大阪、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣）

電話（壹參壹番　壹貳六〇番　六壹貳番　壹貳六壹番）

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

今回諸事改良をなし最も便利に取扱申候

靜養所　仁川　八景園
（電話五五二番）

京城南山町二丁目（伊藤組前に入る）
小倉齒修所

新築落成

寫眞

新設備ｌｌ特色

新寫場は本館永年の經驗上獨特の設計に成れる最新式寫場の構造にして最も迅速に最も温和にして優美なる寫眞を作る上に於て他の遠く及ばざる萬能的長所を有し居り候尙其他宏壯なる待合室風雅なる純日本風更衣室優美なる化粧室眺望宜しき三階の休憩室等あらゆる點に注意して設備致居候間萬件の御愛顧を以て新設備御一覽傍々御來寫願上候尙此際新築御披露の爲九月三十日迄

撮影料半額

南大門通り
京城寫眞館
電話一〇四〇番

M.C.C.

專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣

エムシーシー

土耳古煙草（紙卷）

京城、平壤龜屋——釜山、木浦、群山高瀨支店

家業用工庭用　洗濯石鹼
アイラント　浮石鹼
マップ

（其他）豚脂◎馬脂◎牛脂◎鯨油◎保革油◎寄性曹達◎洋チャン◎椰子油◎工業用諸油製造販賣

京城旭町二丁目
朝日石鹼製造所
電話九七三番　振替貯金番京城四〇〇番

文房具
和洋紙
測量器械

日本政府檢定濟
度量衡器特許輸入販賣所

シノサキ本店

京城本町一丁目（郵便局前）
電話七百五番　電話長六四八番　振替口座朝鮮一五四番

總督府及諸官衙御用

荷物運搬　引越荷物受負

伊藤組

本町三　電話四〇番
南大門驛　電話七三二番
大和町　電話九四八番
同第二　電話一六〇八番

仁川宮町一丁目（三階すし向側）

義齒術一般

三十日間二割引

金齒一本一圓五十錢より八圓迄
銀齒一本三十錢より八十錢迄
鐵齒一本五十錢より一圓五十錢迄
セメンツギ齒一本三十錢より五十錢迄

森冲院

弊館には夜警の設備有り

陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館

なり御客樣の安全此の上なし

仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

酒精アルコール

●新荷着

仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電報サ）
坂倉支店

齒科診療

齒科醫
京城南山町二丁目（天眞樓横　寫眞館跡）
楢崎東陽
電話千三百六十番

齒科診療

京城本町二丁目三越吳服店前
野田齒科醫院

仁川仲町三丁目末永吳服店隣
野田齒科醫院分院

水車唐箕製造販賣

京城明治町百七番戶
土井米吉工場
電話千三百二十六番

朝鮮名產

鶴ノ箸（ツルノハシ）

○鶴の骨細工種々
○鶴の羽細工種々
○朝鮮土產品種々

製造發賣元　京城本町三丁目　電話二二五〇　振替朝鮮四八
海市商會

特約發賣元　京城本町四丁目（電話九五六）
日之出商行

特約發賣元　京城本町六丁目（電話二二〇）
西崎本店

夜間診察は九時迄
入院隨意

六〇六號注射の需に應ず

仁川病院
電話一六番

薄口醬油

（や）

特約販賣
仁川京城
高雄支店

實味噌は白と赤との二色で味好と天下一品

特製
實味噌
御料理向

味噌製造
漬物問屋
仁川本町三丁目
たからや
電話七三七番

開店披露

支那御料理
會席御料理
並に仕出し

室內及器具等は淸潔で料理は新鮮美味にして價格は低廉なれば一度御試し旁々御來店の程願上ます

仁川宮町二丁目（入舟寫眞館前）
築港亭

京城山手町（唐捺白米）
電話一二一番

入院隨意

京城壽町三丁目（電話三七八番）

院主醫學得業士
中島貞信

中島醫院

（仝）

芙江公州　定期出帆

芙江發毎日午前七時芙江發後四時半公州發毎日午後一時四十分公州發翌朝六時

御客樣の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり

京釜芙江驛前
中條運送芙江支店

（キ）

九月中　滊船出帆豫告

三宮丸　九月日前十一時
天草丸　九月日前時
成歡丸　九月日前時
安來丸　九月日前時
成歡丸　八月日前時

仁川本町四丁目
合資會社　秋田商會船舶部
電話一七三七五〇番